

American Rock Lyric Landscape

—アメリカン・ロック・リリック・ランドスケープ—

ロックの歌詞から見えてくるアメリカの風景

文=ジヨージ・カックル

イラストレーション=花井祐介

第16回

トム・ウェイツ 「ステップ・ライト・アップ」

いらっしゃい、いらっしゃい、風変わりな世界へ



Tom Waits
"Small Change"
Asylum 07E1078 [1976]
➔アサイラム (ワーナー)
©WPCR75574

交差点を代表する人物のイメージでデビューした。その地域は観光相手のエリアでもあるが、柄が悪いストリップ劇場やポルノ・ショップ、朝6時からカクテルのネオン・サインがついているようなバー、お土産屋が並ぶ。ドラッグ・ディーラーや売春婦も山ほどいる。今でもトムがいた時と同じに、道端にはさまざまな人がうごめいている。歩けば絶対声をかけられるんだ。ちょっとお兄さん、安くするから買わないか？。トムはあつとその言葉を聞いてこの曲を書いたんだろう。

Step right up, step right up, step right up

Everyone's a winner, bargains galore

That's right, you too can be the proud owner

Of the quality goes in before the name goes on

One-tenth of a dollar, one-tenth of a dollar

We got service after sales

You need perfume? we got perfume

How 'bout an engagement ring?

この曲は1976年に出た、トム・ウェイツの『スモール・チェンジ』という4枚目のアルバムの中の一曲。『スモール・チェンジ』は、ハリウッドの交差点あたりでウロウロしている人たちの世界を歌い、ジャズ・トリオの伴奏で歌っている曲がほとんどだ。このアルバムを好きでなければ、トム・ウェイツの本物のファンではないといわれたらほざ、彼らしい作品なんだ。

日本の寅さんが叩き売りの名手(迷手)としてリズム良く口上を並べ立ててモノを売るように、アメリカにもさういう言葉がたくさんある。「ステップ・ライト・アップ」はそんな言葉をただひたすらダラダラと並べた曲で、歌詞には脈絡なんてまったくないんだけど、そこに「オトムの真骨頂が出ているんだ。彼は、LAにあるハリウッドとバインの

Something for the little lady, something for the little lady,

something for the little lady, humm

Three for a dollar

We got a year-end clearance, we got a white sale

And a smoke-damaged furniture

You can drive it away today

Act now, act now

And receive as our gift, our gift to you

They come in all colors, one size fits all

No muss, no fuss, no spills

You're tired of kitchen drudgery

Everything must go

Going out of business, going out of business, going out of business sale

Fifty percent off original retail price

Skip the middle man

Don't settle for less

How do we do it? how do we do it?

Volume, volume, turn up the volume

Now you've heard it advertised, don't

hesitate

Don't be caught with your drawers

down

Don't be caught with your drawers

down

You can step right up, step right up

曲のタイトル「ステップ・ライト・アップ」は、日本語なら「もつと前に来てくださう。いらっしゃい、いらっしゃい」みたいなニュアンスだ。以下、トムに倣って歌詞の趣くまを、こちらもダラダラと進めていくことにしよう。

▲誰でも勝てます、バーゲンだよ。プライドのあるオーナーになります(これは車の広告でよく使う言葉だ)。名前もいろいろ、クオリティーの方が大事ですよ。1ドルの一部ですよ。アフター・ケアもありですよ(アメリカでは中古車のディーラーは車を売った後は何にもしてくれないのが普通だからね)。香水は欲しい? 香水ありますよ(これもストリートで声をかけてくる販売人の常套句。実際に香水を持ってなくても、ドラックの売人や、なんでも屋がよく使うフレーズなんだ)。婚約指輪はどうですか? リトル・レディーに何かい

がですか。(‘little lady’は女性へのほめ言葉。男性に同伴している女性にも何か売りつけようとするときによく使われる)。3個で1ドルですよ。年末バーゲンですよ。ホワイト・セール(‘white sale’は短い期間店が商品を安くする日だ)。次の‘smoke-damaged furniture’は‘火事に遭った家具を安く売る時に使う言葉)。今日持って行きますよ。今がチャンス、どんな色でもありますよ。簡単に手間がかからないし、こぼれません。あなたは台所仕事に大変な思いをしていますか(‘drudgery’とは辛い仕事を指す)。なぜこんなに安くできるのか不思議でしょう。それは大量生産(‘volume’)をしているから(ここからだんだん曲もふぎ始める。音のヴォリュームに引つ掛けて、実際にヴォリュームもあげて聞いてね)。ズボンが下がっているとき、捕まっちゃだめですよ(これは恥ずかしい時のこと。もともと不倫関係等で、裸のときに捕まることをいう)。急がないとセールではなくなりますよ。ステップ・ライト・アップ▼

That's right, it filets, it chops

It dices, slices, never stops
Lasts a lifetime, mows your lawn
And it mows your lawn
And it picks up the kids from school
It gets rid of unwanted facial hair
It gets rid of embarrassing age spots
It delivers a pizza
And it lengthens, and it strengthens
And it finds that slipper that's been at large
Under the chaise lounge for several weeks
And it plays a mean Rhythm Master
It makes excuses for unwanted lipstick on your collar
And it's only a dollar, step right up
It's only a dollar, step right up
It's only a dollar, step right up
このベロッタは、チタレド・ショッピンズでちやうど、キンチン・グッズを売ってらるゝおに使う言葉から始まる。
《チヨップもタイムもスライムもでかくこの機械は一生モノ。芝も切ってくれちや子供たちを学校に迎えに行ってくれちや。さらなる顔の毛も切ってくれちや。恥ぢか

しつシミもね。ピツツの配達してくれます。のびて、キツクこけてくれちや(売ってるものが何かはわからなけれど、それこそ、とんでもなく売つたてる)。チェイス・ラウンジ(大きなソファ)の下に何週間も隠れていたスリッパまで探してくれちや
《
痩せるための健康器具(リズム・マスター)を楽器みたいに使ったりもしてる。
mean Rhythm Master'とらってるが、これは楽器やカシコトく弾くおに使う言葉だ。'play the mean guitar'というふうだね。ちん、襟にひらけてまった口紅のシミのうらわけもしてくれ。たったの1ドル。
'Cause it forges your signature
If not completely satisfied
Mail back unused portion of product
For complete refund of price of purchase
Step right up
Please allow thirty days for delivery
Don't be fooled by cheap imitations
You can live in it, live in it

Laugh in it, love in it
Swim in it, sleep in it
Live in it, swim in it
Laugh in it, love in it
延々と意味のない詩と説明が続いて、読んでいる人もいなるか嫌気がさしているだろうが、こんな曲なんだ。偽のサインまでしてくれる。
《満足しないときは、未使用分を戻してください。今注文しても30日間かかります。偽物にだまされないうください。なかに住めます、メイク・ラヴもでます、笑えますよ、泳ぎますよ……》
Removes embarrassing stains from contour sheets
That's right
And it entertains visiting relatives
It turns a sandwich into a banquet
Tired of being the life of the party?
Change your shorts
Change your life, change your life
Change into a nine-year-old Hindu boy

Get rid of your wife
And it walks your dog, and it doubles on sax
Doubles on sax, you can jump back Jack
See you later alligator, see you later alligator
And it steals your car
このあたりから、チヤキチヤ下らなくなつてへる。
《マットレスにピタッとフィットするシートに残ってしまった恥ずかしいシミも取れます。遊びにきた親戚にも相手をしてあげます。ひとつのサンドウィッチを、みんなにわけます。パーティーにも替わりに出してくれます。下着も替えてくれます。人生まで変えてくれます。あなたを8歳のロンズー教の男の子にしてあげますよ。奥さんもいなくなるようにしてあげます。犬の散歩もやります。サキンフォーンにもなりません。車まで盗んでくれますよ》
'see you later alligator'は、子供たちがよく使う言葉。《じゃあね、あはよ」というような意味だ。



It gets rid of your gambling debts, it quits smoking
It's a friend, and it's a companion
And it's the only product you will ever need
Follow these easy assembly instructions
It never needs ironing
Well it takes weights off hips, bust
Thighs, chin, midriff
Gives you dandruff, and it finds you a job
It is a job
And it strips the phone company free
Take ten for five exchange
And it gives you denture breath
And you know it's a friend, and it's a companion
And it gets rid of your traveler's checks
It's new, it's improved, it's old-fashioned
Well it takes care of business
またまた続く。ダラダラ続く。

《博打のツケまでなくしてくれます。煙草もやめます。これがあれば何もいらないうよ。これは組み立てが簡単です。アイロンもしなくていい。脂肪を取ってくれます。頭の地肌のフケは差し上げます。仕事も探してくれます。電話代をタダにします。10個くれば、5個返します(これは損をするけど)。入れ歯の悪臭も差し上げます。トラヴェラーズ・チェックもなくしてくれます(トラヴェラーズ・チェックはなんと報告すれば、銀行からもう一度同じ金額をもらえるからね。これじゃ詐欺だけどビジネスを何でもテイク・ケアしてくれるとらうんだ)》

Never needs winding, never needs winding, never needs winding
Gets rid of blackheads, the heart-break of psoriasis
Christ, you don't know the meaning of heartbreak, buddy
C'mon, c'mon, c'mon, c'mon
'Cause it's effective, it's defective
It creates household odors
It disinfects, it sanitizes for your

'We'll give you the business' 〓あなたをだましてきますよ。閉店セールの終わり。チラシはただです、ただし電池は入っていません。12時までやっていきます(terms available) は、どんな条件があるかどうか意味だ)》

You got it buddy: the large print
giveth
And the small print taketh away
Step right up
You can step right up, you can step right up
C'mon step right up
C'mon, c'mon, c'mon, c'mon, c'mon
Step right up
You can step right up
C'mon and step right up, c'mon and step right up

この歌詞は、車の修理の契約書によく入

protection
It gives you an erection
It wins the election
Why put up with painful corns any longer?
It's a redeemable coupon, no obligation
No salesman will visit your home
We got a jackpot, jackpot, jackpot
Prizes, prizes, prizes, all work guaranteed

《昔の時計はネジを巻いたけど、これは巻かなくていいんです。黒頭のヒキビもなくしてくれますよ。そして、乾燥になったとしてもその傷心を癒してくれるんです》
途中には、こんなセリフも入っています。
'Christ, you don't know the meaning of heartbreak, buddy' 〓おじ、おじはハートブレイクの意味もわかっていらないだろ、つね。嫌な匂いも消してあげる。'It gives you an erection. It wins the election' 〓これはおじが子供たちがおもしろがるって使う言葉。'erection' はオチンチンが立っていること、'election' は選挙のこと

っている言葉にかけている。英語ではよく小さく書かれた文章を熟読しなきゃだめだよという。そこに書かれている言葉が危ないから。
最後にトムはこう。'Get away from me kid, you bother me...' 〓おじ小僧、あつかにいけ。邪魔だ。道でセールスしてらるおじが子供が寄ってきたのを追い払ってらる感だ。想像がつくよね。
有名な話だが、『スモール・チェンジ』にはこの曲の歌詞の掲載がなく、かわりにこんな内容が載っていた。

For the lyrics to "Step Right Up" send by prepaid mail a photo of yourself, two dead creeping charlies, and a self addressed stamped envelope to: the Tropicana Motor Hotel, Hollywood, California c/o Young Tom Waits please allow 30 days for delivery

歌詞が欲しい方は、
信用封筒へあなたの写真と、
二つの枯らした



ジョージ・カックル / GEORGE COCKLE
ラジオ・パーソナリティ。1956年、鎌倉生まれ。18歳で新宿2丁目のロック・パーク<開拓地>で、音楽の世界にのめり込む。ハワイアンなどのCDをプロデュースする傍ら、インターFMでは音楽番組「レイジーサンデー」のパーソナリティをつとめ、音楽通ぶりを披露。さらにサーフ・イベントなどのMCでも活躍。
http://whatsupmusic.inc.com

とだ。
セールスマンは家になら。たくさんのお金があるし、すべて保証する。もう詩には脈絡なんて何もなかった。

How do we do it, how do we do it,
how do we do it, ow do we do it
We need your business
We're going out of business, we'll give you the business
Get on the business
End of our going-out-of-business sale
Receive our free brochure, free brochure
Read the easy-to-follow assembly instructions
Batteries not included
Send before midnight tomorrow, terms available
Step right up, step right up, step right up

《私たちはなぜ安へでできると思っていますか。それはあなたのため。'We're going out of business' 〓もう閉店しました。》

クリーピング・チャリーをハリウッド・カリフォルニアのトロピカーナ・モーターに送って下さい。なお、お届けには30日程度かかることをご了承下さいね。クリーピング・チャリーとは、植物のアイヴィー(蔦)の一種だ。
トム・ウェイツは一時期、実際にこのモーターで生活していた。持っていた家が、ツアー中に散々、空き巣に入られたから、モーターに住みはじめたんだ。モーターだったら、管理人がいるからね。料金は一泊9ドルだったらしい。彼がモーター暮らしをしてからというもの、ジャニス・ジョプリンやジム・モリスン、ボブ・マーリーなども、ツアー中にこのモーターを利用するようになったんだ。
ちなみに、彼はこのアルバム『スモール・チェンジ』で、はじめて『ビルボード』のチャートで89位を記録した。